

スーパーマーケット販売統計調査 (10月実績速報版・9月実績確報版)

●速報版について

毎月「同一企業310社」を対象として集計しています。

パネル集計であるため「販売金額(円)」の時系列推移も参照できます。

●確報版について

調査に回答のあった「すべての企業」を対象として集計しています。

集計企業が毎月異なるため「販売金額(円)」の時系列推移は参照できませんが

集計数が速報版に比べて多いため、「前年同月比(%)」については

スーパーマーケット業界全体の動向に近い値になっています。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
- エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
- 集計企業数、総店舗数、総売場面積
- 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	青果	野菜類、果実類、花	
		生鮮3部門	水産	魚介類、塩干物
		畜産	食肉類、肉加工品	
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーパーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
		一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類	
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2012年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2012年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査（10月実績速報版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	78,815,366	100.0%	99.6%	97.2%
食品合計	68,470,196	86.9%	99.6%	97.2%
生鮮3部門合計	25,087,451	31.8%	98.7%	96.2%
青果	10,188,786	12.9%	98.0%	95.5%
水産	6,825,893	8.7%	97.9%	95.7%
畜産	8,072,771	10.2%	100.1%	97.6%
惣菜	6,966,349	8.8%	100.6%	97.9%
日配	14,946,152	19.0%	100.1%	97.6%
一般食品	21,470,244	27.2%	100.2%	98.0%
非食品	6,876,480	8.7%	99.9%	97.2%
その他	3,468,690	4.4%	100.8%	97.9%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	13,188,844	52	101.4%	98.8%
首都圏エリア	28,781,359	90	98.4%	96.9%
北信越エリア	5,442,609	32	97.8%	96.1%
東海エリア	4,575,545	35	96.3%	95.6%
関西エリア	16,514,702	35	101.0%	97.0%
中国・四国エリア	5,240,635	40	100.1%	96.6%
九州・沖縄エリア	5,071,671	26	99.9%	98.1%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	781,843	56	91.3%	94.3%
4～10店舗	4,453,669	92	97.4%	96.5%
11～25店舗	11,781,565	78	97.5%	95.6%
26～50店舗	16,565,379	47	99.2%	98.0%
51店舗以上	45,232,910	37	100.7%	97.4%
集計企業数（社）	310	既存店総売上高（万円）	75,971,245	
総店舗数（店舗）	7,312	店舗平均月商（万円）	10,779	
総売場面積（㎡）	11,683,341	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.7	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比（全店）：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

※前年同月比（既存店）：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

2012年11月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査（9月実績確報版）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	80,011,485	100.0%	101.3%	98.8%
食品合計	70,101,673	87.6%	101.1%	98.5%
生鮮3部門合計	25,504,181	31.9%	100.5%	97.8%
青果	10,525,152	13.2%	100.3%	97.7%
水産	6,963,478	8.7%	99.4%	96.8%
畜産	8,015,552	10.0%	101.7%	98.8%
惣菜	7,341,221	9.2%	103.0%	100.0%
日配	15,277,762	19.1%	99.7%	97.1%
一般食品	21,978,509	27.5%	102.2%	99.8%
非食品	6,635,574	8.3%	100.2%	97.7%
その他	3,274,238	4.1%	102.8%	100.7%

エリア別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北エリア	13,174,659	53	104.0%	101.0%
首都圏エリア	29,419,666	97	100.9%	98.9%
北信越エリア	5,491,763	32	100.9%	98.9%
東海エリア	4,705,251	36	97.9%	96.2%
関西エリア	16,390,799	37	100.8%	97.5%
中国・四国エリア	5,200,044	40	100.6%	97.6%
九州・沖縄エリア	5,629,303	30	101.5%	100.1%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	874,549	60	93.9%	95.4%
4～10店舗	4,745,493	98	98.8%	98.1%
11～25店舗	11,829,043	80	99.4%	97.5%
26～50店舗	16,808,369	48	102.2%	100.0%
51店舗以上	45,754,030	39	101.9%	98.8%

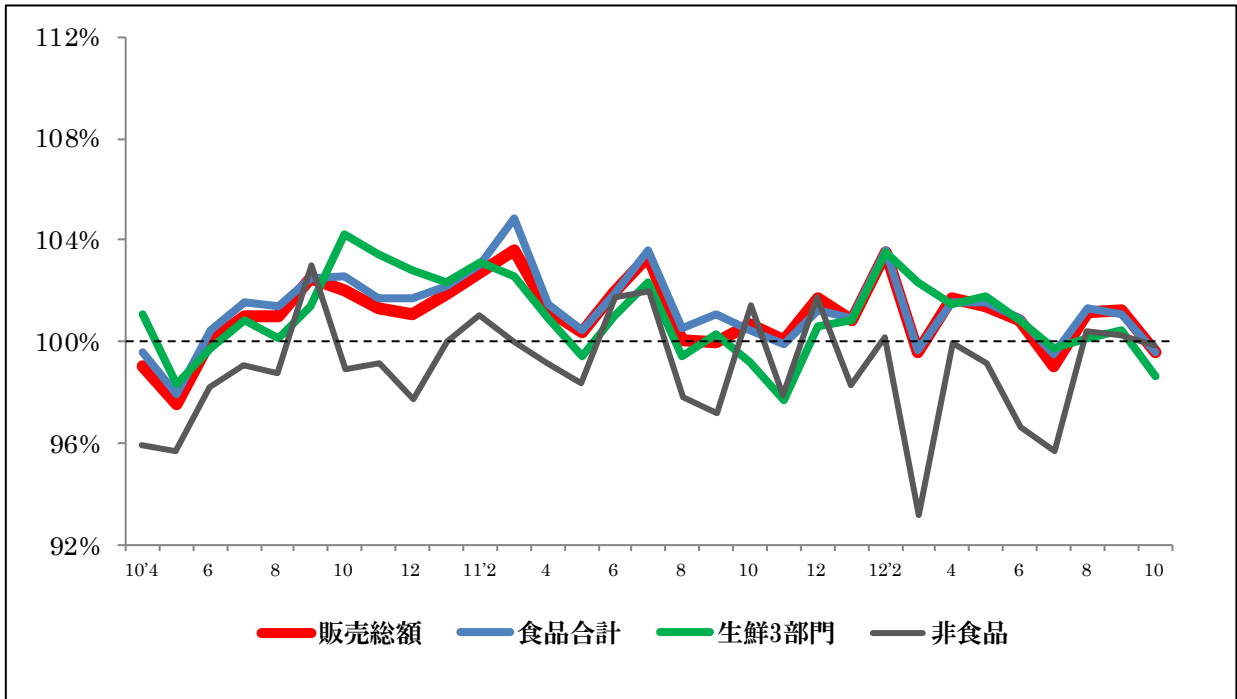
集計企業数（社）	325	既存店総売上高（万円）	77,655,105
総店舗数（店舗）	7,620	店舗平均月商（万円）	10,500
総売場面積（㎡）	11,958,970	売場1㎡あたり売上高（万円）	6.7

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

※前年同月比(全店)：前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較による

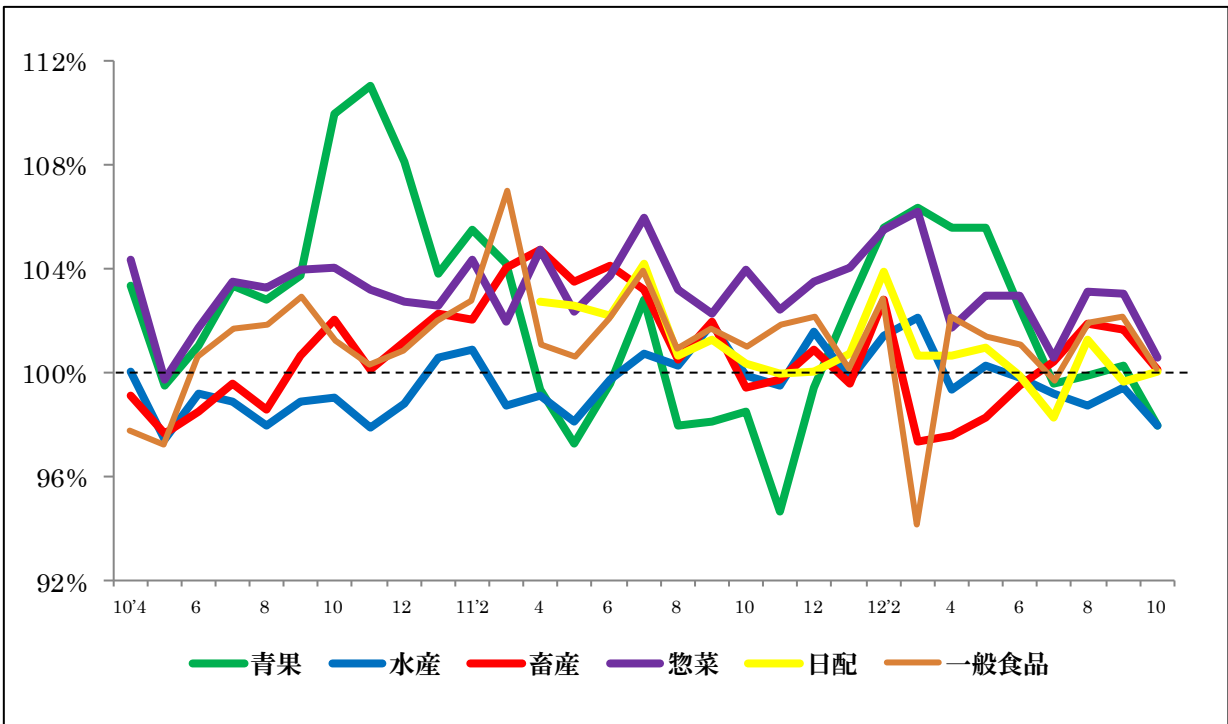
※前年同月比(既存店)：前年同月と当月共に営業の店舗における比較による

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年10月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2012年9月までは確報版による前年同月比、2012年10月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2012年10月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2012年9月までは確報版による前年同月比、2012年10月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2012年10月 上旬に東海より東で平年よりやや高かったほかは、全国的に平年並みの気温であった

前年同月と比較して 上旬は、前年に比べるとかなり高く、中旬以降はやや低い気温となった

	平年との気温差℃								
	2012年10月			2011年10月			前年との差(℃)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.9	1.1	0.7	-1.5	0.7	1.8	3.4	0.4	-1.1
東北地方	1.7	0.5	1.2	-1.7	1.0	2.0	3.4	-0.5	-0.8
関東甲信地方	1.9	0.1	0.5	-1.2	1.2	1.9	3.1	-1.1	-1.4
北陸地方	1.7	0.2	0.9	-2.0	0.7	1.8	3.7	-0.5	-0.9
東海地方	1.9	0.2	0.3	-1.1	0.9	1.7	3.0	-0.7	-1.4
近畿地方	0.9	0.0	0.4	-1.6	1.0	2.0	2.5	-1.0	-1.6
中国地方	0.5	-0.1	0.8	-1.5	1.1	2.0	2.0	-1.2	-1.2
四国地方	0.5	-0.1	0.3	-1.0	0.9	1.8	1.5	-1.0	-1.5
九州北部	-0.3	-0.4	0.2	-1.0	0.7	1.1	0.7	-1.1	-0.9
九州南部・奄美地方	-0.5	-0.2	-0.1	-0.8	0.3	1.2	0.3	-0.5	-1.3

平年差℃

平年差-2℃以上

平年差-1℃以上

平年差+1℃以上

平年差+2℃以上

前年差℃

-2℃以上

-1℃以上

+1℃以上

+2℃以上

②日照時間

2012年10月 上旬にやや長い地域があったが、中旬以降はほぼ全国的に平年並みの日照時間となった

前年同月と比較して 上旬九州南部・奄美地方で長い地域があったが、他の地域では前年並みの日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2012年10月			2011年10月			前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	105	87	81	97	110	83	8	-23	-2
東北地方	97	127	100	118	109	79	-21	18	21
関東甲信地方	130	131	111	141	85	99	-11	46	12
北陸地方	114	126	105	126	118	84	-12	8	21
東海地方	151	108	126	141	82	105	10	26	21
近畿地方	129	106	120	135	93	90	-6	13	30
中国地方	120	108	111	137	94	67	-17	14	44
四国地方	142	102	108	104	83	85	38	19	23
九州北部	134	114	94	99	85	71	35	29	23
九州南部・奄美地方	149	87	115	78	72	99	71	15	16

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

③降水量

2012年10月 上旬は全国的に降水量がかなり少なく、中旬、下旬はやや多い降水量となった

前年同月と比較して 九州地方で月を通して少なかったが、他の地域では、ほぼ前年と変わらない降水量であった

	降水量 平年比(%)								
	2012年10月			2011年10月			前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	103	153	151	141	75	178	-38	78	-27
東北地方	74	87	118	97	93	61	-23	-6	57
関東甲信地方	46	123	96	73	56	105	-27	67	-9
北陸地方	72	126	147	63	102	78	9	24	69
東海地方	6	130	127	46	155	131	-40	-25	-4
近畿地方	16	150	167	41	197	241	-25	-47	-74
中国地方	24	138	113	38	110	156	-14	28	-43
四国地方	13	144	102	45	121	345	-32	23	-243
九州北部	2	110	179	31	193	381	-29	-83	-202
九州南部・奄美地方	2	143	32	177	145	279	-175	-2	-247

平年比%

平年比50%以下

平年比51%~75%

平年比125%~149%

平年比150%以上

前年差%

-50%以下

-25%~-49%

+25%~+49%

+50%以上

気象庁ホームページより引用

平均値は過去30年(1981年~2010年)による

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

11月調査結果(10月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3カ月前と比較した現状及び今後2~3カ月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2012年11月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

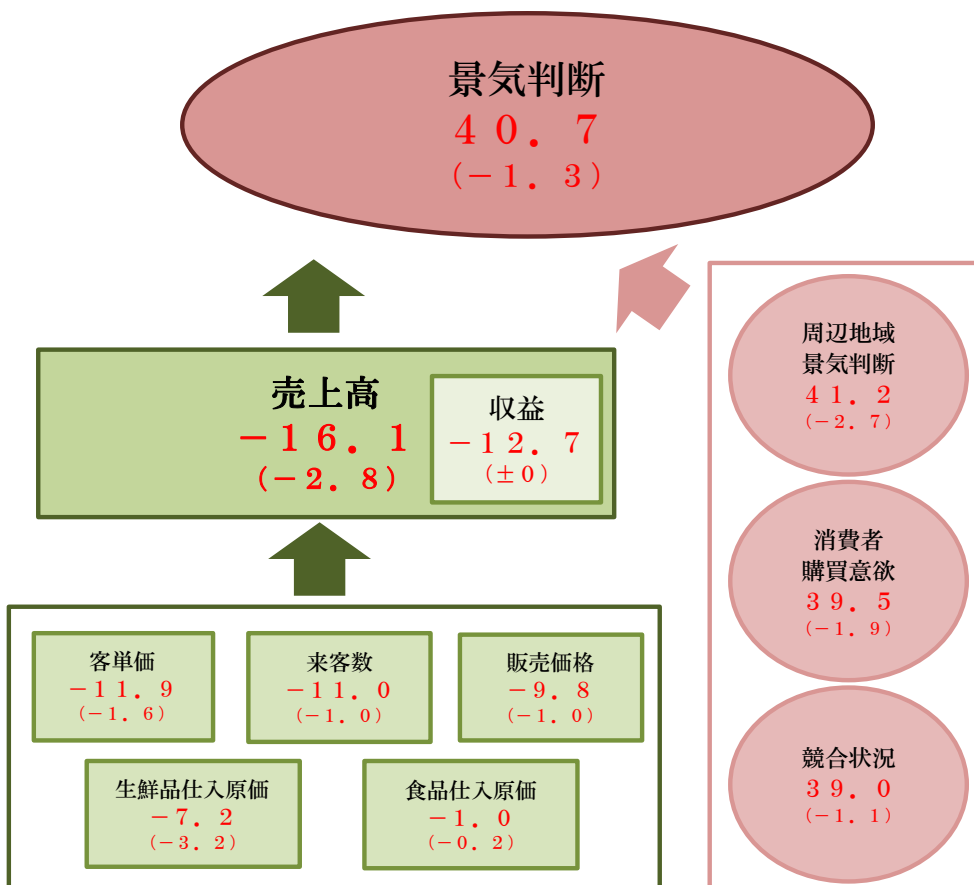
スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

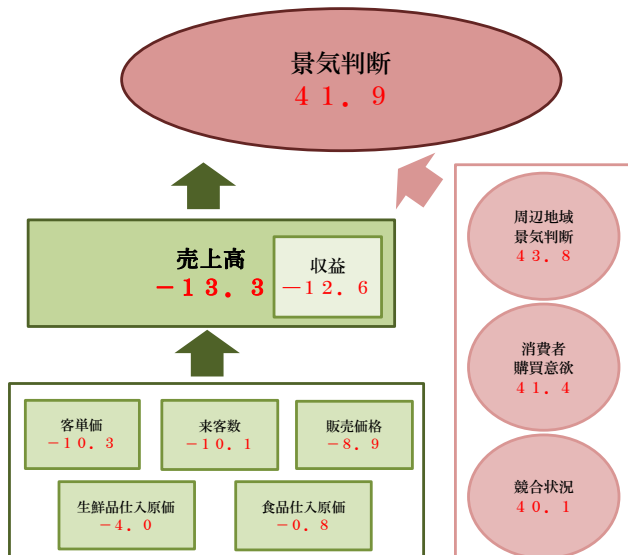
I. 調査結果概況

10月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は、40.7と厳しい判断となった。前年同月に比べ土日が少ない影響も重なり、売上DIは-16.1と前月よりさらに悪化した。収益DIを除くすべての経営動向DIが悪化しているが、生鮮品仕入れ原価DIが-7.2と大きく下降している。これは、コメントTOP3にもあげた青果相場安と考えられる。景況感調査DIも前月に比べすべて悪化しているが、なかでも周辺地域DIが比較的大きく低下しており、景気の減速感が鮮明となっている。年末商戦に向けて、次月以降底打ち傾向がみられるか注目したい。

10月中核店舗における景気動向（速報版）



9月中核店舗における景気動向（確報版）



景気動向調査コメント キーワードTOP3

1. 前年に比べて土日が一回ずつ少ない
2. 青果の相場安
3. 競合状況

■ 経営動向調査DI（当月と前年同月との比較）
 ● 景況感調査DI（現状と2～3ヶ月前との比較）
 （ ）内は、前月DIとの増減（赤字はDI減少）

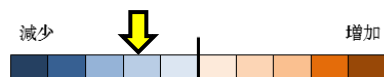
9月調査確報版 集計企業数：285社
 10月調査速報版 集計企業数：252社

II. 調査結果詳細

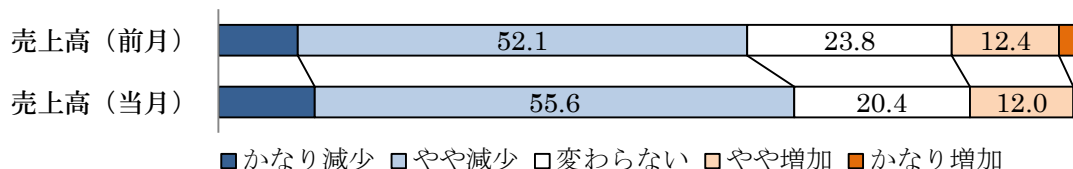
1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

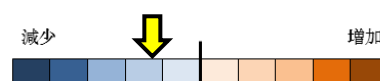


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	9.2	52.1	23.8	12.4	2.5	-13.3
売上高 (当月)	11.2	55.6	20.4	12.0	0.8	-16.1

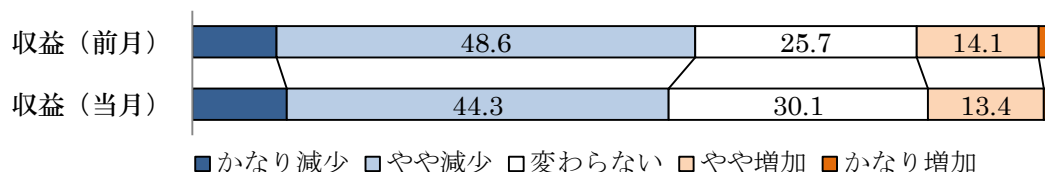


②収益 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ 変わらない / ↓ やや減少）

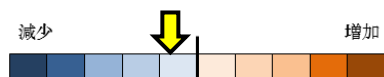


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	9.8	48.6	25.7	14.1	1.8	-12.6
収益 (当月)	11.0	44.3	30.1	13.4	1.2	-12.6

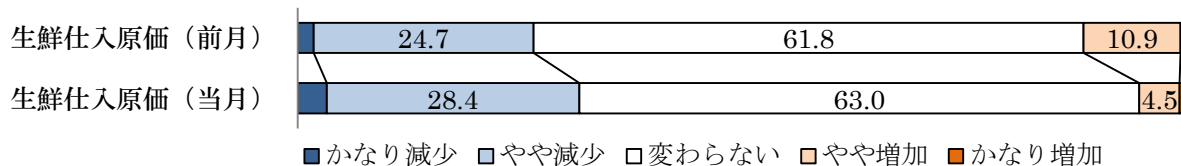


③生鮮仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや減少 / ↓ やや増加）

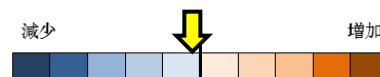


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.8	24.7	61.8	10.9	0.7	-4.0
生鮮仕入原価 (当月)	3.3	28.4	63.0	4.5	0.8	-7.2

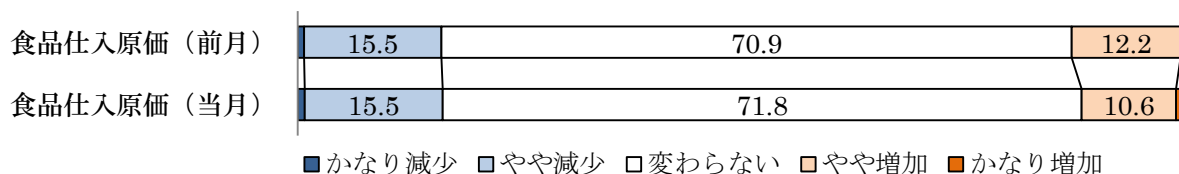


④食品仕入原価 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

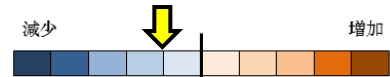


回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.7	15.5	70.9	12.2	0.7	-0.8
食品仕入原価 (当月)	0.8	15.5	71.8	10.6	1.2	-1.0

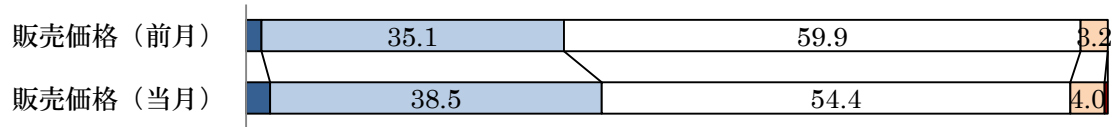


⑤販売価格 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



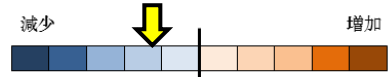
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.8	35.1	59.9	3.2	0.0	-8.9
販売価格 (当月)	2.8	38.5	54.4	4.0	0.4	-9.8



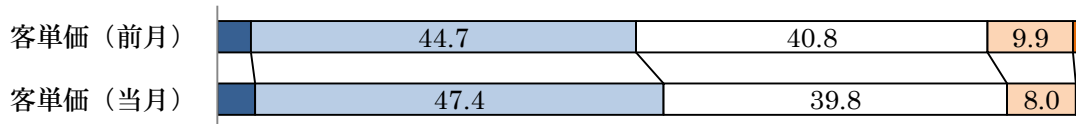
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑥客単価 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



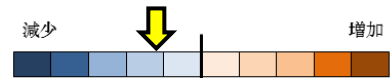
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	3.9	44.7	40.8	9.9	0.7	-10.3
客単価 (当月)	4.4	47.4	39.8	8.0	0.4	-11.9



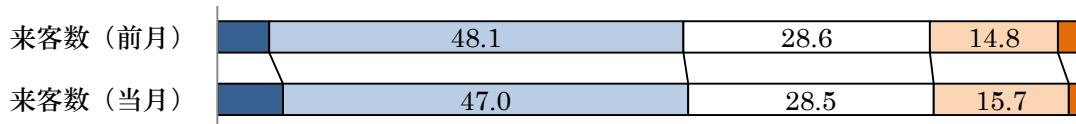
■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

⑦来客数 DI

(前月からの回答構成比の変化：横ばい)



回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.0	48.1	28.6	14.8	2.5	-10.1
来客数 (当月)	7.6	47.0	28.5	15.7	1.2	-11.0

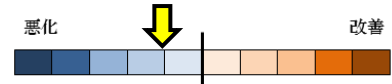


■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

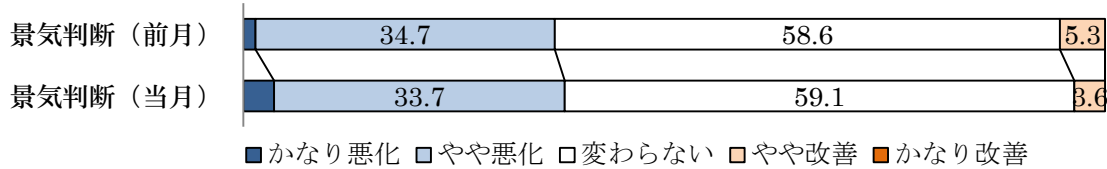
2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前と比べて）

①景気判断 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

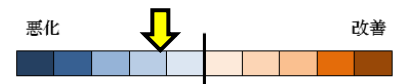


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.4	34.7	58.6	5.3	0.0	41.9
景気判断（当月）	3.6	33.7	59.1	3.6	0.0	40.7

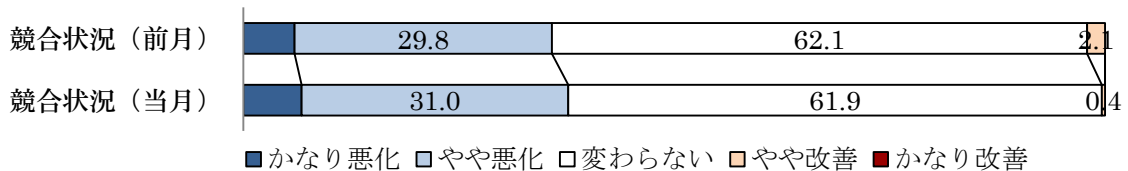


②周辺競合状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

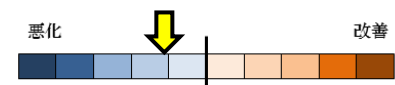


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	6.0	29.8	62.1	2.1	0.0	40.1
競合状況（当月）	6.7	31.0	61.9	0.4	0.0	39.0

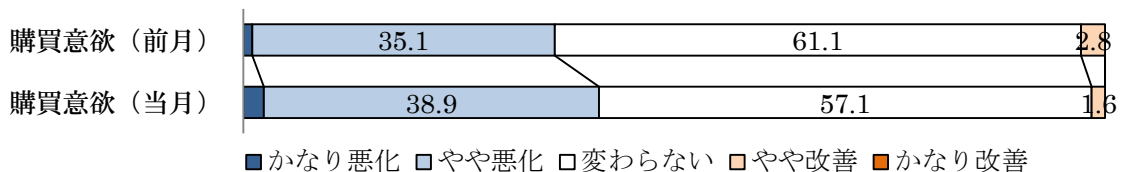


③消費者購買意欲 DI

（前月からの回答構成比の変化：横ばい）

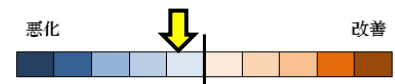


回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.1	35.1	61.1	2.8	0.0	41.4
購買意欲（当月）	2.4	38.9	57.1	1.6	0.0	39.5

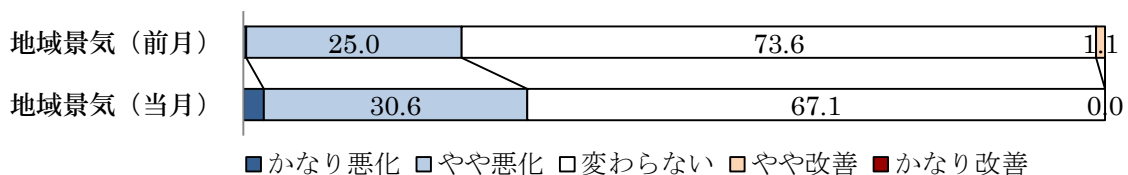


④周辺地域景気状況 DI

（前月からの回答構成比の変化：↑ やや悪化 / ↓ 変わらない）



回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	0.4	25.0	73.6	1.1	0.0	43.8
地域景気（当月）	2.4	30.6	67.1	0.0	0.0	41.2

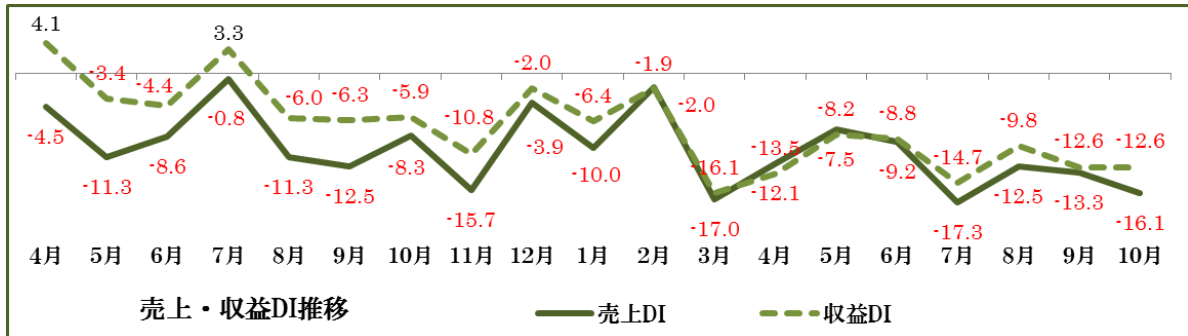


II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

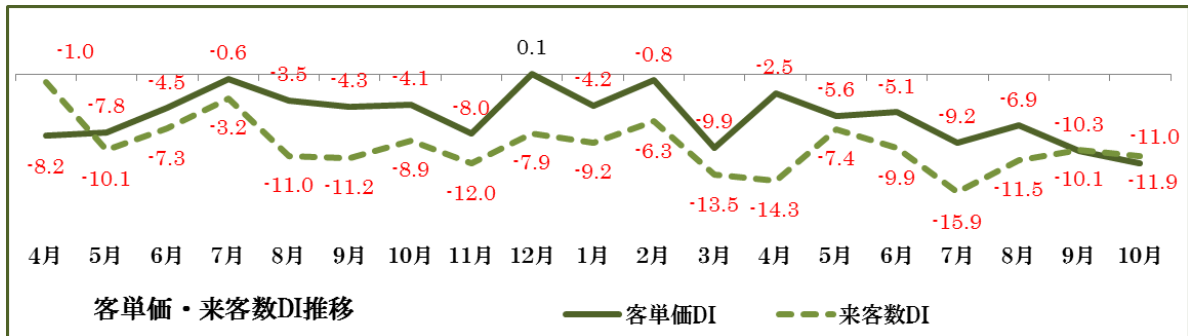
①売上高DI・収益DI

「売上高DI」下降、「収益DI」横ばい



②客単価DI・来客数DI

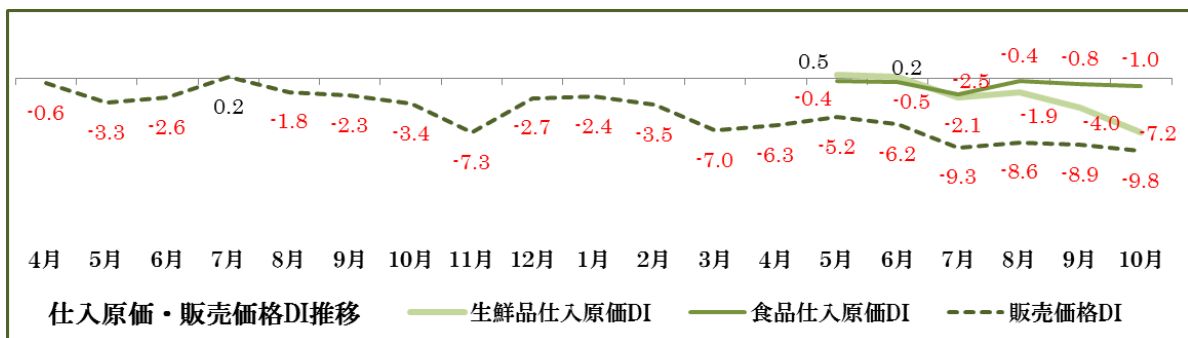
「客単価DI」「来客数DI」共に下降



③生鮮品仕入原価DI・食品仕入原価DI・販売価格DI

「生鮮品仕入原価DI」3ヵ月連続下降、「食品仕入原価DI」横ばい

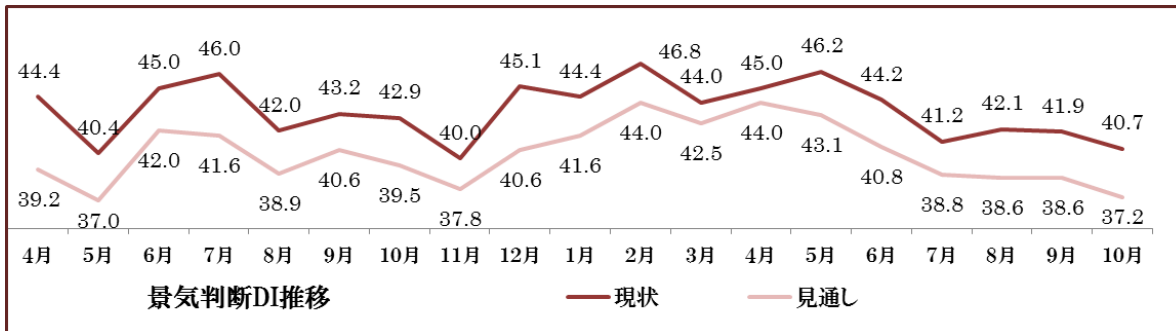
「販売価格DI」下降



2. スーパーマーケット景況感調査

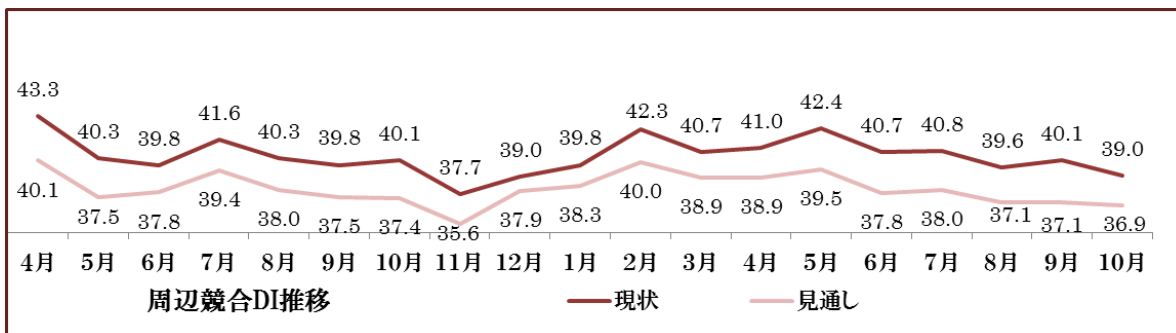
①景気状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は低下、見通し判断は4月から下降傾向続く



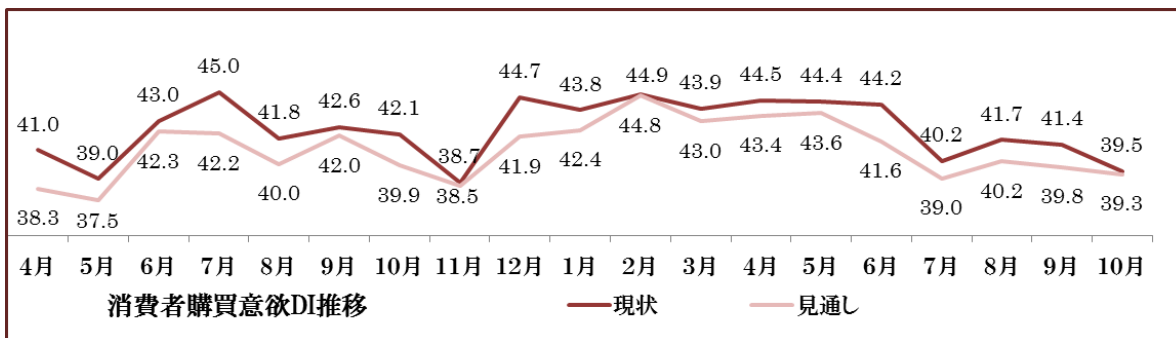
②周辺競合状況 DI (現状判断・見通し)

現状判断は低下、見通し判断は横ばい



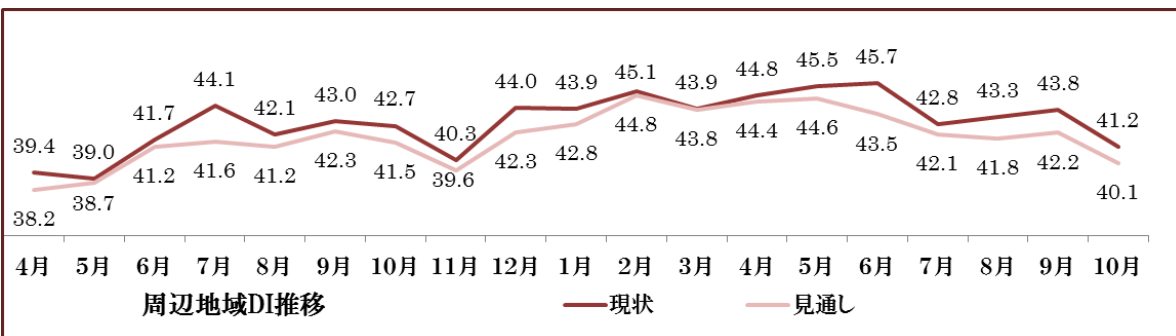
③消費者購買意欲 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に低下



④周辺地域 DI (現状判断・見通し)

現状判断、見通し判断共に低下

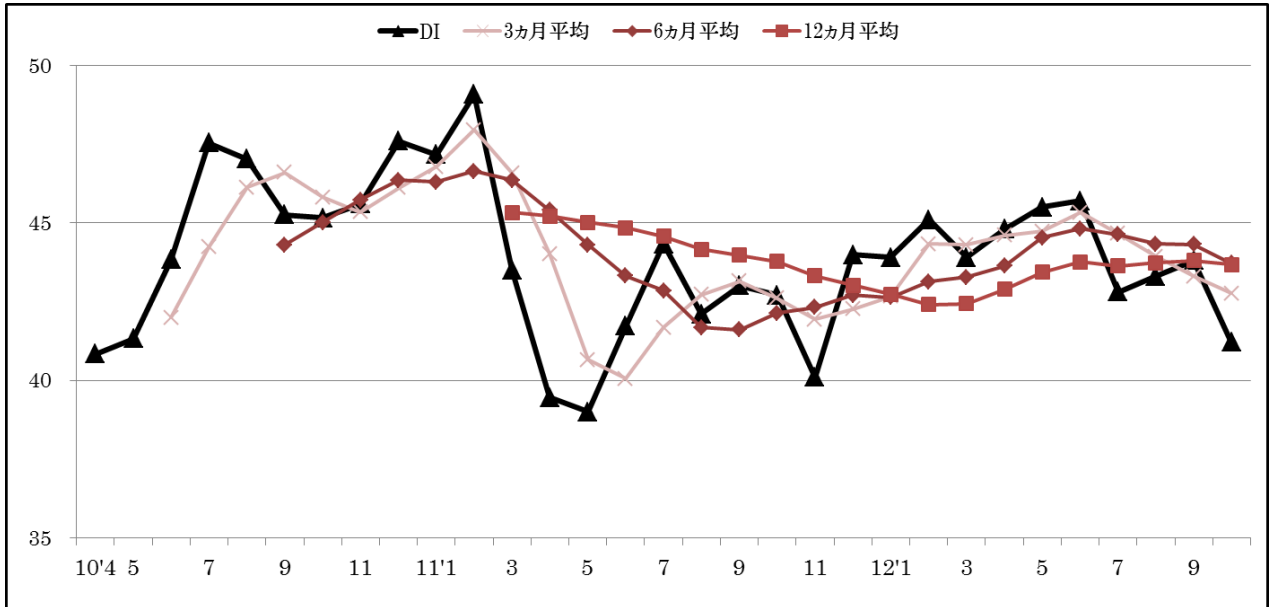


III. 調査関連資料

1. 移動平均（周辺地域景気 DI 現状判断・見通し）

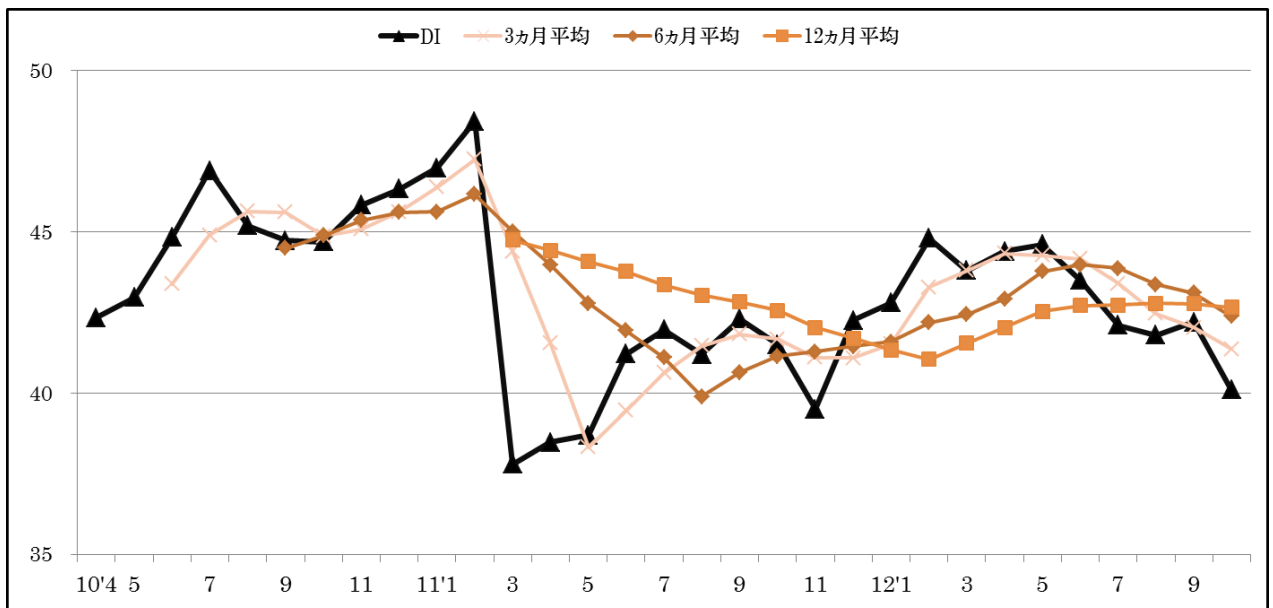
①現状判断（中長期傾向）

6月をピークに単月DIが下降傾向となり、10月は長期傾向を示す12カ月平均線もついに下向きに変化した。これですべての移動平均線が下向き化したことになり、単月DIが12カ月平均線を上回って推移するまでは下降トレンドが続くと推察される。



②見通し判断（中長期傾向）

前月（9月）にすべての移動平均線が下向き化し、下降トレンド入りしている。10月も引き続き単月DIが下降している。回復基調を確認するためには、単月DIが12カ月平均線を上回って推移するのを待たなければならない。

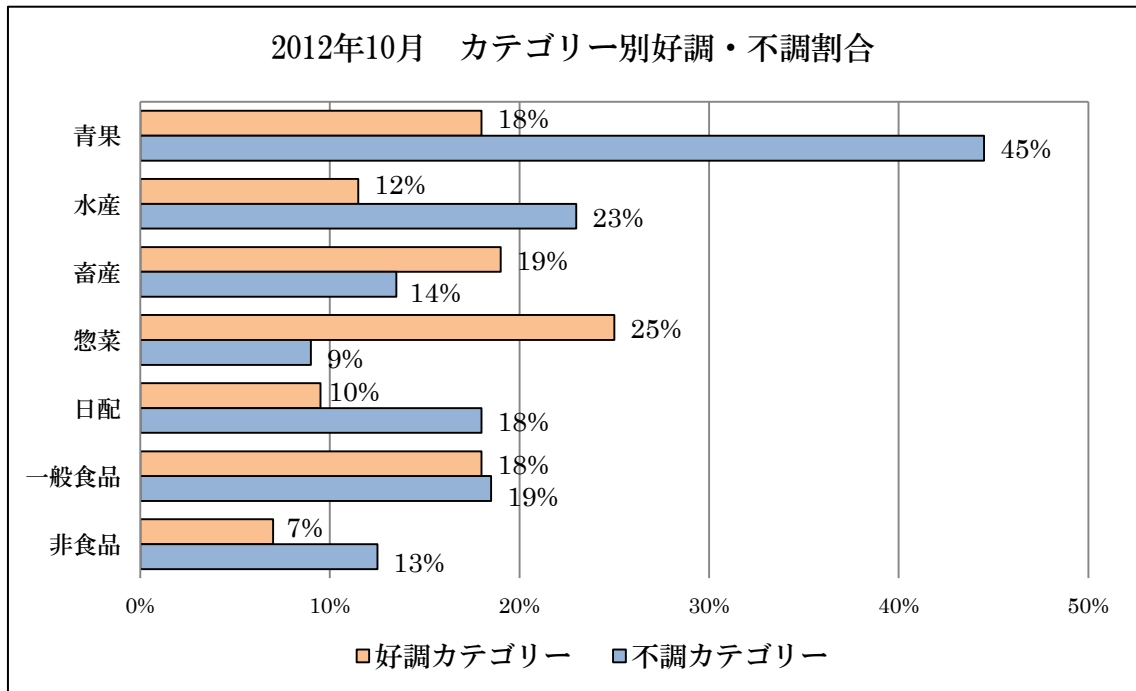


2. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

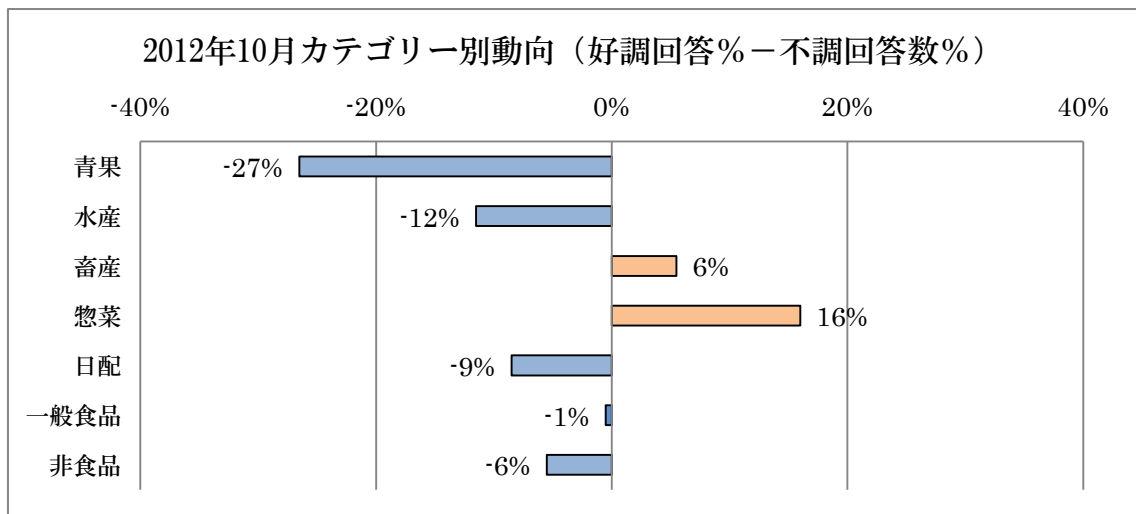
好調の回答が多いカテゴリー：①「惣菜」②「畜産」③「青果」・「一般食品」

不調の回答が多いカテゴリー：①「青果」②「水産」③「一般食品」



好調回答%－不調回答%が多い：①「惣菜」②「畜産」

好調回答%－不調回答%が少ない：①「青果」②「水産」



※N=200 複数回答あり

②カテゴリー別主なコメント

	好調コメント	不調コメント
青果	果物	青果相場安、鍋物商材不振
水産	(刺身)	不漁(高価格)、魚離れ
畜産	牛肉、豚肉相場安	豚肉相場安、昨年の反動
惣菜	行楽・ランチ需要、取り組み強化	
日配	冷凍食品	鍋物商材、漬物、競合
一般食品	飲料、(新米)	酒類、季節商材、競合
非食品	(セールの実施)	他業態(ドラッグストア)との競合